

# 異世代交流機能を

## 上士幌町生涯学習センター 改築へ町民WS

【上士幌】老朽化や機能集約のため、町が2015年度に建て替える予定している町生涯学習センターで8日、同センターの建て替えに關わる意見交換会が開かれた。住民参加によるワークショップ(WS)形式で行われ、町民は新しく建てられるセンターに求める機能や在り方について意見を出し合った。

同センターの建て替えをめぐっては、来年1月の基本計画策定を目指し、内閣府の「特定地域再生事業費補助金事業」を活用し、町と北海道大学、NPO上士幌コンシエルジュの3者でアンケートやヒアリングなどの調査を行っている。

意見交換会には町民約40人が参加。町公施設整備基本計画構想アドバイザーを務める北大大学院工学研

究院の森傑教授が司会進行を務めた。参加者は同研究院の研究員生8人とともに4つのグループに分かれて発泡スチロールで作られたセンターや周辺施設の模型を見ながら、新しいセンターに求める機能などについて意見を交わした。

参加者の中からは「異なる世代が交流できるようなオープンスペースや飲食スペースの設置」「障害者でも利用しやすいバリアフリー構造」などの意見が出された。町の民生委員やサポートセンター支援員を務める石川裕子さん(73)は意見交換会に参加し、「何十年も利用し愛着のある施設がどう新しくなっていくか楽しみ。世代の垣根を越えて交流できる施設になってほしい」と話していた。

(大谷健人)



模型を使って生涯学習センターの改築について意見を出し合った町民ら(中央が森教授)